(最終更新日：2025年 3月 14日)

「情報公開文書」

医学部 HP 記載用

受付番号：2025-1-065

課題名：震災ストレスが心身に及ぼす影響に関する包括的調査研究

1. 研究対象

- (1) 被災の健康状態等への影響調査(2011年度～2025年度調査)：東日本大震災の発災時に宮城県宮城郡七ヶ浜町に住民票があり、かつ、大規模半壊以上の被害にあった世帯の全構成員約3,000名。
- (2) 被災の健康状態等への影響調査(2012年度・2013年度調査)：(1)の対象者に加え、宮城県宮城郡七ヶ浜町の沿岸部行政区域の世帯の2割以上が大規模半壊以上の家屋被災にあった区域における大規模半壊以上の家屋被災を免れた世帯の全構成員約7,000名。
- (3) 震災関連の健康問題の発病と予後に関わる生物学的要因の特定研究：東日本大震災の発災時に宮城県宮城郡七ヶ浜町に住民票があり、かつ、大規模半壊以上の被害にあった世帯の全構成員約3,000名。

2. 研究期間

2012年7月(倫理委員会承認後)～2029年3月31日

3. 研究目的

申請者は震災後から継続して七ヶ浜役場と連携しながら、七ヶ浜町民の震災による心身へのストレスのケアに当たっています。東北大学と七ヶ浜町は2011年から2020年までの10年間、共同で被災者健康診査を実施しました。これまでの定期的な問診票による健康調査により、10年間の調査から得られた知見は七ヶ浜町のみならず、国内外の災害後の健康対策に役立ってきています。2025年度末で15年が経過することになり、東北大学と七ヶ浜町は、改めて、被災者の心身の健康状態を調査し、10余年の経過と併せて検証することで、被災をされた方の今後の心身の健康の回復や増進などに役立てるとともに、今後の災害対策に有益な情報を集積させて、長期的な外傷後ストレス障害やうつ病と関連の強い生活習慣や環境、運動習慣や食習慣を明らかにし、震災後の長期的なメンタルヘルス問題を持ちやすいハイリスク群を、震災直後に得られる情報から予測するモデルを作成することで、今後の震災後のメンタルヘルス支援に一層役立てることが目的です。

4. 研究方法

平成 23 年度～令和 2 年度の「震災ストレスが心身に及ぼす影響に関する包括的調査研究」調査で収集した問診票情報をもとに、震災から 10 年後の外傷後ストレス障害症状スコア、うつ病症状スコアと関連の強い項目を解析し、精神疾患症状スコアを予測するモデルを作成します。また、令和 7 年度末で東日本大震災発災から 15 年が経過し、また、震災以降、被災住民のメンタルヘルスケアを担ってきた心のケアセンターが閉所となる予定であることもあり、現時点で、改めて、被災者の心身の健康状態や震災が心身に及ぼした影響の実態を把握することが望ましく、令和 2 年度までの調査と同様の手順で、調査、解析を行います。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：問診票アンケート 等

6. 外部への試料・情報の提供

理化学研究所へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人を特定する情報は別の符号に匿名化する操作を二重に行うことで個人情報流出のリスクを一層軽減させます。この匿名化の対応表は東北大学の研究責任者が保管・管理します。2024 年度以降は理化学研究所の研究参加は終了する。

7. 研究組織

東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 富田博秋

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の幸神情報及び知的財産の保護に支障のない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられていることについては、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承を頂けない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

仙台市青葉区星陵町 1 - 1 医学部 3 号館 7 階

TEL：022 - 717 - 7263

東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

教授 富田博秋（研究責任者）

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

- ①利用目的を用意に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容器に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は政党な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続き

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報にかんする保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1) 以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提供するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しく支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合